

K.G. WEEKLY NEWS

■発行日 2015.1.26 No.798 ■発行 関西学院広報室 ■西宮市上ヶ原一番町1-155 TEL 0798-54-6017

関学生がスピードスケートで 世界選手権大会に出場！



スケート部の横山大希さん(経済学部3年生)が3月13日から15日まで、ロシアのモスクワで開催される2015世界ショートトラックスピードスケート選手権大会に出場する。日本代表として2名が出場できる個人戦(500m、1000m、1500m)への出場が確定しており、日本代表がリレー出場権を確保した場合はリレーメンバーとしても出場する。

また、2月4日から14日にスペインのグラナダで開催される第27回ユニバーシアード冬季競技大会にも出場する予定。

横山さんは「世界選手権にはソチ五輪のメダリストも出場します。予選を勝ち進んで、決勝に進出したいです」と意気込んでいる。

女性の活躍促進に向けて！

♪初「女性管理職者育成コース」、いよいよスタート！

関西学院大学経営戦略研究科が企業の女性管理職率30%実現に向けて新設したハッピーキャリアプログラム「女性リーダー育成コース」の入校式が大坂梅田キャンパスで2月4日(水)17時半～行われる。



書類選考と面接を経て、14人の女性管理職・候補の方が12月までの期間、週1～2回通学する。女性経営者トップの方の登壇やロールモデルやメンターの提供、男性管理職も巻き込んだ意識改革を促すことも予定。引き続きご注目ください！

～最終講義のお知らせ～

今年度をもって退職する関学大教員が次のとおり最終講義を行う。

安井 宏 司法研究科教授

■日時:2月19日(木)13時30分～15時

■場所:西宮上ヶ原キャンパス大学院2号館3F模擬法廷

■演題:「我が国における約款論の展開」

岸野 文郎・理工学部教授

■日時:2月20日(金)15時10分～16時40分

■場所:神戸三田キャンパス4号館305教室

■演題:“Mastery for Service”を实践できましたでしょうか？

関西学院は2014年9月に創立125周年を迎えました。

次号は2月16日(月)発行予定

経済学部生の 論文が特別優秀賞に！



～政策提言でマダガスカルの貧困者率80%の 改善をめざす～

経済学部栗田匡相ゼミ(開発経済学)の3年生チームが執筆した論文「マダガスカルにおける稲作技術」が昨年12月13・14日、明治大学で開催された「ISFJ日本政策学生会議政策フォーラム」で優勝にあたる特別優秀賞を受賞した。昨年末には、JICA東京から衛星中継でJICAマダガスカル事務所にて政策提言する機会を得ている。

栗田ゼミの3年生は昨夏に、全員でマダガスカルを訪問。同論文は、過酷な環境の中、JICAマダガスカル事務所の協力を得て、2週間かけて520世帯の農家で行ったアンケート調査をもとに執筆した。



同論文では、JICAの技術協力プロジェクト「中央高地コメ生産性向上プロジェクト(PAPRIZ)」を用いた稲作技術が、通常の農法よりも約2.5倍の収量になることを証明。さらに現地との衛星会議では、モデル農地の設置による広報活動、設備投資の資金調達やリスク管理が容易になるマイクロ金融の導入を同時に行うことで、PAPRIZの普及が大幅に促進できる実現性の高い複合的な政策パッケージを提案した。

この政策パッケージの導入により農家収入が向上し、80%を超える貧困者比率の削減が可能となる。また、将来成長したマダガスカルが日本の新たなビジネスパートナーとなることで日本の国益にもつながる。

「ISFJ日本政策学生会議政策フォーラム」は、全国の大学生が1年間の研究成果の集大成を競い合う論文の大会。2014年度は京都大や慶應義塾大など国公私立22大学から130本の論文が応募された。多くの論文が文献からのデータを収集している中、栗田ゼミの論文は現地調査から得た「生のデータ」を用いた政策提言、学生が肌で感じた現地の様子を織り交ぜた点が特に評価された。

チームリーダーの大上友里さん(経済学部3年生)は「現地調査では貧困を痛感しましたが、人々に悲観的な様子は一



切なく、むしろたくましさを感じた。帰国後、ゼミ生全員の顔色が変わり『現地の人々をさらに笑顔にしたい』と、論文執筆に打ち込みました。私たちの政策提言がマダガスカルの発展の一助になればうれし」と話している。